



「コロナが収束して家族みんなでディズニーランドに行けますように・・・」といった切実な願いが記された短冊が、笹の葉に揺れていた七夕。コロナ禍3年目の夏を迎え、今年こそはこうした願いが天に届くものと期待していましたが、まさかの感染急拡大となり、園内でも関係者の感染が増加したことから「自主判断登園期間」を設けることとなりました。保護者の皆様にはこれまで同様、ご協力を賜り感謝申し上げます。夏休みを前に不安な日々が続きますが、今後どのような状況になろうとも、私たちは基本的な感染症対策を更に徹底し、一日一日を大事に過ごすことしかないと考えております。それぞれが自分にできることを粛々と続けてまいりましょう。

明日から夏休みに入ります。コロナ対策に加え、命を守るという「安全」に関しては、園生活における最重要事項として日ごろから子どもたちと確認し合っていますが、ご家庭でもお子様と再確認していただきますようお願いいたします。できる範囲でご家族にとって楽しい夏の思い出が刻まれることを心から願っております。

なぜ大事なのが分かるように 話し合しましょう

園生活で一番大切なこととして日々子どもたちと確認している『自分の命は自分で守る』について、**具体的にどうすればよいのか・それはなぜなのか**を夏休み前にご家庭でも十分に話し合い、相互理解していただきますようお願いいたします。

～具体的な命の守り方のポイント～

①車・バイク・自転車等からの守り方

※先日行われた『交通安全教室』の取り組みの様子をHP(日記欄)に記載していますので、参照してください。

②海・川等の水からの守り方

- ・大人の人の近くで遊びましょう。 ※保護者の方は、お子様から絶対に目を離さないように十分注意しましょう。
- ・話をよく聴き、**約束**を守って遊びましょう。 ※遊ぶ前に、各ご家庭で決めた約束ごとを再確認してから始めましょう。

③暑さからの守り方

- ・喉が渇く前に定期的に少量ずつ水を飲みましょう。
- ・戸外では必ず帽子を被りましょう。
- ・休憩をとりながら活動しましょう。



室内・戸外にかかわらず、喉が渇く前に水を飲んでいきます。



(上) 今年も登場、セミ取り名人！
(下) 教師の腕から離れようとしないうちに、大喜びの年少児



頭からのシャワーも大丈夫

水、気持ちいいね！

歯の健康について

『2019年度、熊本県は虫歯のある1歳6か月児の割合が1.76%と、全国平均の0.99%を大きく上回ってワースト1位だった』という記事が、先日、熊本日日新聞に載っていました。

ご家庭では、「おやつなど甘いものを与えすぎない」「歯磨き後の正しい仕上げ磨きをする」、園では、昼食後のブクブクうがい、フッ化物洗口(年長児)を行う等、体作りの基礎となる歯と口の健康について、ともに取り組んでいきたいと思っております。



みんなで育てたピーマンに触れたり、においを嗅いだりする満3歳児

父子でミニアルバム作り参加申し込みの方へ

年長児を対象とした8月7日(日)のミニアルバム作りに、たくさんの参加申し込みをいただき、ありがとうございました。

開催の有無に関しましては、『はあもにい』側とも協議し、最終判断させていただきます。結果は「コドモン」でお知らせいたしますので、もう暫くお待ちください。

<編集後記> この2年、感染症対策のためプールでの水遊びを自粛してきましたが、今年度は、入水の人数を半分に減らし、間隔をとって活動を再開しています。遊ぶ時間はやや短くなりますが、子どもたちの笑顔と歓声を目の当たりにすると、私たちも嬉しくなります。引き続きやるべきことを徹底し、方法を工夫しながら園生活を楽しいものにしていきたいと思っています。来る2学期も保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。【子育て相談支援員：北村】